実り豊かで、楽しくなければワイズじゃない！自分が連れてきてもらったように１人が１人を連れて六甲部

六甲部ＥＭＣ事業主査　小野　勅紘（西宮クラブ）

２０１３０６３０現在　１４５名 ➡	２０１３年０７月３１日現在　１４７名（2名増員）	今後候補数　3名	退会数　0名	今期増員目標　１１名	達成率１８％

№	掲載年月日	活動年月日	活動内容	クラブ	入会式立会	会場	備考
8	20130831	20130831	六甲部各クラブリーフレット・名刺サンプルアップ	西日本区・六甲部			資料庫
7	20130831	20130723	六甲部ＥＭＣ事業委員会	8クラブ・ＨＰ		神戸ＹＭＣＡ	
6	20130831	20130825	7月度ＥＭＣ集計結果	8クラブ・ＨＰ			
5	20130831	20130719	西宮クラブ第一例会にてアンケート実施	西宮クラブ		西宮ＹＭＣＡ保育園ホール	資料庫
4	20130831	20130716	神戸西クラブ公式訪問・アンケート実施	神戸西クラブ・ＨＰ		神戸ＹＭＣＡ	
3	20130831	20130711	神戸ポートクラブ公式訪問・アンケート実施・入会式立会	神戸ポートクラブ・ＨＰ	西澤他喜衛メン	グリーンホテル神戸	
2	20130831	20130701	神戸学園都市クラブ転会報告受理	神戸学園都市クラブ	田辺征一メン		鹿児島クラブより転会
1	20130831	20130713	２０１３－１４年度六甲部ＥＭＣ事業活動方針	第一回評議会・ＨＰ		神戸大学海事科学部深江キャンパス梅木ホール	綾国ＥＭＣ主任

※画像：六甲牧場・神戸学園都市ＹＭＣＡ・神戸港の練習船海洋丸・六甲山高山植物園・百万ドルの夜景・芦屋さくら祭り・甲子園球場・宝塚市民クリスマス・バレンタインコンサート・六甲部エクステンション

※スローガンの説明：実り豊か（自分にとっても地域社会にとっても有益なボランティア活動）で、楽しくなければ（根底には皆が力を結集することで成果を上げることが出来る。それには皆が親睦を図ってよりお互いを理解し合うことが大切）ワイズじゃない！１人が１人を連れてくれば倍になる。（２０１０年８月に横浜で開催された第６９回国際大会での、ダルマス前国際書記長の退任挨拶）

ご挨拶

２０１３－１４年度六甲部ＥＭＣ事業主査　小野　勅紘（西宮）

１．はじめに

この度、六甲部ＥＭＣ事業主査を拝命いたしました、西宮クラブの小野勅紘（ともくに）です。ワイズメンズクラブ西日本区六甲部の活動の根幹を占めるＥＭＣ事業すなわち会員増強のお役目を担うことになりました。微力ではありますが、今年１年間皆様とご一緒に、お役目を果たしていくことが出来ますよう活動いたします。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

２．西日本区と六甲部の現状

さて、西日本区では「西日本区２０００小委員会」が結成されて一時１，７００名を越えた時期もありましたが、２０１２－１３年度末における区勢は１，６０４名と１００名の減となっております。六甲部においては５年前から「六甲部２００」キャンペーン」を掲げてエクステンションを目指す「ＥＰＪ」委員会が結成されて活動しておりますが、新規クラブ設立は現在模索中です。

今年度がその「六甲部２００」キャンペーンの最終年度の５年目においては２００に達するどころか、逆に－５名（２０１２年６月の前年度現在対比）で１４５名と減少しております。そこで、今期は原点に立ち返ってこの２００に対してどのように対策をを立案し、それをどのように実施していけば効果的であるかを検討し直して、次年度を開始年度とする「新六甲部２００」キャンペーンのスタートへの原資としたいと思っております。

3．「六甲部２００」キャンペーンの**見直し**と、目標の設定**根拠**、そしてそれを実現出来る**秘密の方法**

毎年の傾向を見直してみますと２００という目標を掲げてきましたが、毎年一定の増員があるものの、その同数程度の退会すなわち「ドロップ」があるために増減数に変化がなく結局「現状維持」という便利な言葉のもとに増員が叶わないという結果になっています。そこで、２００に対して原状の１４５名から増員する場合、その差の２００－１４５＝５５名が増員目標ではないということです。毎年「増員数」＝「減員数」が増員出来ない理由であるならば、（増員数×２）－減員数＝年度毎の増員数となるのです。実際に数字を当てはめてみると、（２００－１４５）×２－５５＝５５名増員となるのです。年間目標では増員数１１名×２－減員数１１名＝年度増員数１１名となります。各8クラブに置き換えると、増員２．７５名－減員１．３７５名＝１．３７５増員と四捨五入すると「増員数3名」－「減員数1名」＝「年度増員数2名」となります。これを受けて各クラブでは結果となる2名を増員目標とするのではなく、**「増員3名以上」を年間増員目標**としていただきたい。何故ならば、毎年の傾向として「ドロップ」は避けられないからです。どうか、この目標を着実に実行していって、5年後には確実に「六甲部２００」を達成いたしましょう。それには、部長、主査、会長、ＥＭＣ委員といったスタッフが中心とはなって活動を展開いたしますが、それだけではなく会員の皆様ご自身、**お一人がお一人を連れてくる習慣**を培っていただきたいと思います。それはごく簡単な方法で実現出来ます。毎日大変お忙しくされておられる皆様の日頃のお仕事や、生活の中で**ワイズのプライオリティー（優先度）をたった一段アップ**していただくだけで実現出来るのです。この方法は私が実感した方法でもあり、他の活動向上にも大いに有効な方法です。皆様のご協力をお願いいたします。

４．２０１２－１３年度成瀬直前理事の理想である**「顧客満足度（ＣＳ）実現」**のワイズにおける主題・スローガン

さて、私事ですが、昨年8月にノルウェ―のスタバンゲルで開催された第７０回国際大会に参加いたしました。その折、奇しくも２０１３年2月２５日に帰天された成瀬晃三西日本区直前理事と4日間ルームメイトとしてご一緒させていただきました。成瀬さんは三菱重工業に就職されたおり、もともとは、最近公開された宮崎駿のアニメ映画「風立ちぬ」の舞台でもある航空機のエンジニアとして勤務することを希望されていました。しかし、配属されたのは三菱重工業の自動車部門である三菱自動車。ご存知のように三菱自動車ではリコールの問題で、顧客満足（ＣＳ）の分野で立ち遅れを取っていたとのことでした。成瀬さんはそんな三菱自動車の特に海外を中心にいかに顧客満足度を回復するかに力を入れて、原点に立ち返り活動されてこられたとのことでした。そういったことを何とかワイズにも応用したいということで、２０１２－１３年度の理事主題のスローガンとして「満足度」を取り上げておられます。入会した**ワイズメンが本当に「満足感」を実感できているのか**どうか。これがワイズ活動を継続していくかのバロメーターであると主張されました。**充分に満足度を得られれていないから、退会していく**のだと思われます。しかし、ワイズにおいての満足度は与えられものではなく、ワイズメン自身が多くの活動と経験を通して自ら獲得し、それを次の活動に生かしていくことが重要なことは各ワイズメン自身が充分心得ているはずではあります。

５．満足度の得られるための**意識アンケート**の実施

しかし、ワイズメンには多くの年代や分野のメンバーが一緒に活動しています。充分に満足度を得られないまま、早々に退会してしまうドロップがあるため増加しないという厳しい現実もあります。栗本薫氏の小説「シンデレラシンドローム」に見られるような「深夜１２時にはガラスのハイヒールに叶う王子様が現れて、シンデレラに幸せを与えてくれるはず」という期待感と似ています。私自身の経験にもありますが、入会間もない1～3年目位はそういった不安感で一杯なのではないでしょうか。メンバーの話す用語が判らない、自分のワイズでの位置がない、例会がつまらない、これでいいのだろうかといった焦りはないだろうか。そういった不安感は入会間もない内は誰でも経験することですが、あくまでも個人的な想像の域ですが、そういった**導入時期のフォローやケアがドロップを防止する道である**ことは自明の理です。何でもない日頃の声掛けやお誘いが重要なことは周知のことです。

ワイズメンご自身の意識はどうなのか、真の姿はどうなのか、今迄正確に調査した実績はありません。実際にはどうなのかを検証してその対策を講じていかねば成果は期待出来ません。そこでその傾向を調査するための**「アンケート」を実施して効果的な対策を立案**したいと思っております。１年間を通して意識アンケートを実施していきたいと思いますので、皆様にはどうかご協力をお願いいたします。それが成瀬直前理事が私に託された**遺言**であると受け止めて、奮励努力する所存です。皆様のご協力をお願いいたします。

Y'sly for Y'sdom